

研究・調査報告書

報告書番号	担当
149	独立行政法人酒類総合研究所
題名 (原題/訳)	
Apolipoprotein E gene polymorphism and previous alcohol withdrawal seizures. Apolipoprotein E 遺伝子多型とアルコール禁断発作の前歴	
執筆者	
Wilhelm J, von Ahsen N, Hillemacher T, Bayerlein K, Frieling H, Kornhuber J, Bleich S.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
J Psychiatr Res. 2007 Nov;41(10):871-5.	
キーワード	
Apolipoprotein E、アルコール禁断症状	
要 旨	
<p>近年、Apolipoprotein E (ApoE) 遺伝子とその対立遺伝子の精神疾患や神経傷害における役割が注目されている。遺伝子本研究では ApoE 遺伝子多型とアルコール禁断発作の前歴との相関を調べた。194名のアルコール依存症患者をアルコール禁断発作の前歴があるグループ (SZ+) とないグループ (SZ-) に分け、PCR で ApoE の遺伝子型を調べ、ApoE の対立遺伝子の数を調べた (ApoE2 : n=36; ApoE3 : n=311; ApoE4:n=41)。この結果、アルコール禁断発作 (SZ+) との正の相関が ApoE3 対立遺伝子のグループで見いだされ、また負の相関が ApoE2 対立遺伝子のグループで見いだされた。ApoE4 対立遺伝子のグループではアルコール禁断発作と何も相関は見られなかった。以上より、ApoE3 遺伝子変異とアルコール禁断発作に相関があることが明らかになった。</p>	